

只見線復興のために
合同メーデルリーフが寄附
会社

合同会社メーデルリーフの酒井治子さんが、2月4日に寄附のために役場を訪問しました。

合同会社メーデルリーフは「春夏秋冬 只見線缶マグネット」や「只見線歴代車両クリアファイル」などの只見線応援グッズを販売し、その売上から金6万6,716円を只見線の復興応援のため町に寄附しました。

いただいた寄附は、只見線復興のために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



▲目録を手渡した酒井さん(左)

長年の功績を称える
五十嵐さん
「農林水産大臣表彰」受賞

令和7年度福島県統計功労者表彰式が行われ、五十嵐潤之介さん(塩沢)が、農林水産大臣表彰を受賞しました。

五十嵐さんは、昭和56年から統計調査員に従事され、農林水産統計(農林業センサス、世界農林業センサス)に9回調査員としてご活躍いただいていることなどが評価され、受賞となりました。

伝達式は、2月24日に町役場で行われ、五十嵐さんに表彰状と金杯が贈られました。



▲農林水産大臣表彰を受けた五十嵐さん(右)

医師不足などの不安解消のために
朝日診療所オンライン診療がスタート

朝日診療所では、福島県の支援を受け、会津医療センター付属病院(以下医療センター)との連携によるオンライン診療が始まりました。

オンライン診療は、朝日診療所で患者がモニター越しに医療センターの総合内科医の診察(問診、視診)を受ける形となります。医療センターの医師が朝日診療所の電子カルテシステムを遠隔操作しながら、診察を行うため、朝日診療所側では、医師の立ち合いがなく、看護師が同席し診療の補助を行います。対象患者は、医師の指示の下、症状が軽く安定している方となります。

現段階では不定期の運用となりますが、今後も医療センターとの調整を行い、課題の精査、改善を行いながら、医療機関との連携を深め、安定した運用構築を進めます。

将来的には、災害時などの診療所機能の補完、訪問診療などで医師が不在の時間帯や診察室に空きがある場合の診察など、診療所での診療体制の安定化が期待されます。

朝日診療所の城所長は「町民の医療機関へのアクセス負担軽減にもなる。今後、皮膚科や精神科など専門

科の診療ができるようになれば理想的。どなたでも活用できる仕組みとなるようにしていきたい」と話しました。



▲オンライン診察の様子。医療センターの医師がモニター越しに問診を行う